

授業科目名		開講 年次	開講 期間	単位数	授業形態
エンドオブライフケア学特論Ⅳ (成人の看護とウイメンズヘルス)		1	前期	2	講義 30時間
担当教員	岡本明美、久保幸代、千葉恵子、松本幸枝				
授業概要	成人期にある人とその家族を発達段階の視点でとらえ、がん、慢性疾患、生活習慣病や成人および女性の生涯にわたる健康支援等を含めた成人期に特有で多様な健康課題の予防および治療に関する高度な看護実践に必要な知識と技術を学修する。特に、特有の健康課題を急性期から慢性期と変化を予測的に対応するためのエビデンスに基づいた介入方法およびその評価について探求する。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 成人期にある人とその家族の発達課題とその特徴について、発達理論や家族理論を用いて説明できる。 2. 成人期の健康支援システムとして成人保健、生活習慣病予防及び重症化予防について説明できる。 3. 成人期の健康課題を解決するための看護理論やモデルをもちいて、エビデンスに基づく高度な看護実践とその評価方法について説明できる。 4. 成人期に生じるがん、慢性疾患など代表的な健康課題とアセスメントおよび看護援助について説明できる。 5. 女性の生涯にわたる健康課題に関して、ウーマンズヘルスの観点から健康増進、及び重症化予防について法制度を踏まえ説明できる。 				
履修条件	特になし				
授業計画	回	内容	担当教員		
	1	地域で暮らす成人期にある人とその家族の発達課題と健康支援システムについて学ぶ	岡本		
	2-3	地域で暮らす成人期にある人の保健制度や事業、生活習慣病とその重症化予防について、学修する。	岡本		
	4-5	成人期の発達課題と主な健康課題を解決するために必要な看護理論を用いて対象理解と看護実践とその評価までの展開を学ぶ。 (例：危機理論、ストレスコーピング理論、適応理論、健康の全体性理論など)	岡本		
	6-7	成人期の健康課題をもつ人と家族に対するアセスメントと看護援助 ：急性期疾患、救急(心疾患、脳血管疾患、ショック、外傷時)	松本		
	8-9	成人期の健康課題を持つ人と家族に対するアセスメントと看護援助 ：慢性疾患(高血圧、COPD、糖尿病、腎・肝疾患)、がん(肺がん、大腸がん、乳がん、子宮がんなど)	千葉		
	10-11	成人期特有の健康課題を抱えた患者・家族に対する質の高いエンドオブライフケアを提供するための看護実践とチームアプローチについて学修する。	千葉		
	12-13	地域で生活する女性の生涯にわたる健康支援①：思春期から高齢期までの健康課題をウーマンズヘルスの観点から法制度を踏まえて学修する。	久保		
	14-15	地域で生活する女性の生涯にわたる健康支援②：妊娠・出産・育児にかかわる地域母子保健における女性の健康課題とその支援システムを学修する。	久保		
教科書					
参考書	その他、必要に応じて紹介する。				
評価方法・基準	事前準備とプレゼンテーション(50%)、討論の内容(50%)で総合的に査定し、到達目標の達成度で評価する。				
事前・事後学習	事前に示した資料を読んでおくこと。事後には講義で学んだ技術を実習で応用してみることに。				